

# 挑戦し続ける たくましさの育成

～次期学習指導要領の実施に向けた  
平成30年度の取り組み～

問合せ 学校教育課 ☎35-3154



## 平成30年度高山市の小中学校教育の重点 「挑戦し続けるたくましさの育成」

### 子どもたちに願う姿

- ・夢や目標の実現に向かって挑戦し続けることができる。必要があればその夢や目標を見直し、その実現に向かって再び歩み続けることができる子
- ・苦手な教科に対しても、あきらめることなく地道に努力を続けることができる子
- ・自分の役割を自覚し、できることをコツコツと続けることができる子

小学校では2020年度から、中学校では2021年度から、学習の基本となる次期学習指導要領が全面实施となります。そこで、市内の小中学校では、子どもたち一人ひとりに寄り添い、きめ細かな支援を行っていくとともに、児童・生徒には自分の夢や目標に向かって「挑戦し続けるたくましさ」を身につけてほしいと考えており、平成30年度の高山市小中学校の重点項目としました。

### ●次期学習指導要領の実施に向けた平成30年度の主な取り組み

- ・小学校で特別の教科道徳の実施（中学校は平成31年度より）
- ・小学校外国語活動・外国語の準備（3・4年生は年間35時間、5・6年生は年間70時間実施）
- ・主体的・対話的な授業を生み出す電子黒板の導入（小学校）
- ・特別支援学級に在籍する児童・生徒への学習支援用タブレット端末の導入
- ・高山市全小中学校における前期・後期制への移行

### ●郷土教育を大切に、地域の素晴らしさと地域の方々の生き方を学ぶ授業の充実

市では「学び得た生きる力がやさしさのある社会の礎となる教育」を目指しています。そのために、郷土高山に根ざした心に残る教育を創造することを教育の方針としています。郷土教育を大切に、郷土への誇りと愛着をもち、郷土の持続可能な発展に貢献できる人づくりを目指します。

## 教えて教育長！



市教育委員会は、平成30年度の市内小中学校教育の重点に「挑戦し続けるたくましさの育成」を掲げました。

今回、中野谷教育長に「たくましさ」についてインタビューしました。

「教育における「たくましさ」とはどのようなものですか？」

グローバル化、情報化、技術革新など、社会は急速に変化しています。そんな社会で生きていくためには、自分で考え行動すること、試行錯誤すること、周りの人と協働して課題解決に取り組むことなど、失敗を恐れず挑戦し続ける力が必要です。この、挑戦し続ける力を「たくましさ」ととらえています。

「「たくましさ」はどのようなことに育つのですか？」

「自ら考え、決め、やってみる」という経験の中で「やった、できた」と口にできる「達成感」とみんなの役に立ったという「貢献感」を実

感することは、さらに進む動機となります。こういった繰り返しの中で「自己肯定感」が高まり、自信や誇りにつながることも、子どもたちの「たくましさ」が育っていきます。

「家庭や地域でできることはどんなことがありますか？」

子どもたちに「自ら考え、決め、やってみる」という機会を多く設けて欲しいです。そして、子どもたちが達成感や貢献感を感じることができるよう「耳を傾ける」「見届ける」「ほめる」など、結果だけを見るのではなく、成長へと導くことをお願いします。